



被爆80周年
“Piece of Peace”
平和のかげら

Hiroshima Symphony Orchestra An Evening of Peace Concert 2025

広島交響楽団

2025「平和の夕べ」 コンサート

被爆80周年

“Music for Peace”

ダニール・トリフォノフとともに

指揮
クリスティアン・アルミンク

Conductor: Christian Arming
©Shumpei Ohsugi

ソプラノ
石橋 栄実*

Soprano: Emi Ishibashi

“現世の苦悩から
歓喜を経て天上へ”

ピアノ
ダニール・トリフォノフ

Piano: Daniil Trifonov

©Dario Acosta/DG

世界的ピアニストのダニール・トリフォノフを迎え、新たな魅力を湛えた広響「平和の夕べ」コンサート。

20世紀初頭のほぼ同年に作曲された、ラフマニノフとマーラーの2作品を対峙させることで、

被爆80周年の節目に、世界を分断する様々な困難を乗り越える「音楽の力」を得て

Music for Peace(音楽による平和)を広島から世界に発信する。

ラフマニノフ ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18

Rachmaninoff: Piano Concerto No.2 in C minor Op.18

マーラー 交響曲第4番 ト長調*

Mahler: Symphony No.4 in G major

コンサートマスター: 北田 千尋 Concertmaster: Chihiro Kitada

※当初予定のプログラムから出演者、曲目の一部が変更となりました。



2025.8.5 火

18:45開演
(17:45開場)

広島文化学園HBGホール 広島市中区加古町3-3

Tuesday, August 5, 2025 Start 18:45 [Open 17:45]
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

■チケット料金／ S:¥11,000 A:¥9,000

※小・中・高校生はS・Aとも半額(広響事務局のみで取り扱い)

■チケット発売日／2025年6月5日(木)

■プレイガイド／広響事務局、広響webチケット

JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ

チケットぴあ(Pコード289-299)

ローソンチケット(Lコード62931)

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。 ※開演時間に遅れた場合、入場に制限がございます。



被爆80周年



花と緑と音楽の
おもてなし



第3回
U31国際平和文化祭
HIROSHIMA FESTIVAL 2026

■主催／広島市、公益財団法人広島市文化財団
公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

■助成／文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

■お問い合わせ／広響事務局 082-532-3080

■公式ホームページ／<http://hirokyo.or.jp/>

広島交響楽団

2025「平和の夕べ」コンサート

広島交響楽団が被爆80年を祈念して開催する「平和の夕べ」コンサート。

当初はソリストにマリア・ジョアン・ピリスを予定していましたが、
軽い脳梗塞を発症、一定の加療と休息が必要との判断で、残念ながら今回の来日が見送られました。

しかし代役として、このコンサートの理念に共鳴して出演を応諾してくれたのが、
現在世界でもトップ・ピアニストの一人であり、日本でも大きな人気を誇るダニール・トリフォノフ。
そして彼のもっとも得意とするレパートリーのひとつ、ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番をもって広響との初共演が実現します。
トリフォノフは近年、日本でオーケストラとの協奏曲を弾くことがなかったこともあり、注目の公演です。
ラフマニノフが抱えた苦悩から、マーラーの天上の音楽へと、世界に向けて音楽による平和のメッセージを届けます。

指揮：クリスティアン・アルミンク

Conductor : Christian Arming

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年から広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年に同団の音楽監督に就任した。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルトウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマンダ管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年に小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演、2024年に東京二期会オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》全6公演を指揮した。

レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲2短調などで高い評価を得ている。2025年4月には、広響音楽監督就任披露公演で取り上げたR.シュトラウス／アルプス交響曲のライブ録音をリリースした。



©Shumpei Ohsugi

ピアノ：ダニール・トリフォノフ

Piano : Daniil Trifonov

2010年のショパン・コンクール第3位、翌年のルービンシュタイン国際コンクールとチャイコフスキー・コンクールで優勝して以来、超一流の指揮者やオーケストラから引く手あまた、リサイタルや室内楽でも瞬間に世界で頭角を現した。アルゲリッチは「彼はすべてを、そしてそれ以上の優しさと悪魔的な一面を手に入れている。私はかつて、このような演奏を聴いたことがない」と語る。

ラトル、ムーティ、ネゼ＝セガンらの指揮のもと、ウィーン・フィル、コンセルトヘボウ管、フィラデルフィア管などと共演し、ウィグモアホール、ウィーン楽友協会、ベルリン・フィルハーモニー、シャンゼリゼ劇場などでリサイタルを開いている。カーネギーホールから「パースペクティヴ・シリーズ」全7公演の企画・出演を任せられ、2018/19年シーズンはベルリン・フィルの、翌シーズンはニューヨーク・フィルのレジデント・アーティストを務めた。ドイツ・グラモフォンと専属契約を結んでの数多い録音は、多くの国際的な賞を受賞。

作曲も学び、2014年に自作のピアノ協奏曲が初演された際、クリーヴランド紙では「この卓越した芸術的手腕は実際に目の当たりにした後ですら、とても信じられない」と絶賛された。



©Dario Acosta/DG

ソプラノ：石橋栄実

Soprano : Emi Ishibashi

大阪音楽大学専攻科修了。大阪舞台芸術奨励賞、音楽クリティック・クラブ奨励賞、咲くやこの花賞、坂井時忠音楽賞、他受賞。ドイツ・ケムニッツ市立劇場「ヘンゼルとグレーテル」にグレーテル役として招かれて以来、新国立劇場「沈黙」「ラ・ボエム」「フィデリオ」「ドン・ジョヴァンニ」、兵庫県立芸術文化センター「夕鶴」、びわ湖ホール「カルメン」「ばらの騎士」他数多くのオペラに出演し続けている。また、バッハ「マタイ受難曲」、メンデルスゾーン「エリア」、モーツァルト「戴冠ミサ」「ミサ曲ハ短調」「レクイエム」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、マーラー「交響曲第4番」、ヴェルディ「レクイエム」、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」などのソリストとして全国のオーケストラと多数共演。広島交響楽団とはベートーヴェン「エグmont」、演奏会形式歌劇「青ひげ公の城」で共演をしている。「NHKニューイヤーオペラコンサート」、NHK-BS「クラシック倶楽部」、NHK-FM「ベスト・オブ・クラシック」などのメディア出演の他、久石譲シルベスターコンサート出演など幅広く活動。大阪音楽大学教授。



2025

同プログラムで開催いたします

「平和の夕べ」コンサート

ザ・シンフォニーホール 大阪公演

日時／2025年8月7日(木) 19:00開演(18:00開場)
会場／ザ・シンフォニーホール

東京オペラシティ公演

日時／2025年8月8日(金) 19:00開演(18:00開場)
会場／東京オペラシティ コンサートホール

チケット
好評
販売中

ご予約・お問い合わせは広響事務局
TEL:082-532-3080まで